

# よりあいつうしん

## 23号

よりあいつうしん課

〒814-0104

福岡市城南区別府  
7丁目9-22

092-845-0707

# 家族会から繋がった支援

『口から食べることが出来ないかもしれない』  
入院先で経鼻経管栄養を勧められた安川さん。  
決断を迫られた時、ご家族の脳裏をかすめたのは  
家族会での話でした。

「母が全然食べないの  
で、病院から経鼻経管  
栄養を勧められています  
…。どう思われますか？」  
と安川さんの娘さんが  
よりあいに相談に來ら  
れました。

拘束で安川さんが食べ  
る意欲や生きる意欲を  
失ってしまったからだ  
と思います。

安川さんは入院して  
半月程で食事を食べな  
くなり、娘さんが手伝っ  
ても「要らん」と口も  
開けません。点滴の管  
を外さない様に両手に  
はミトン。「もうどう  
でも良い」という投げ  
やりな言葉は、入院と  
いう環境の変化や身体

き合うために、よりあ  
いに來ることを提案し  
ました。

相談から2日後、安

娘さんの相談には、  
経鼻経管栄養はとて  
苦痛であること、管を  
外さない様にまた拘束  
される可能性があるこ  
と、その状況が続くこ  
とで更に食べる意欲や  
生きる意欲が削られる  
のではないかと。再び食  
べることが出来るかは  
分からないけれど、ゆっ  
くり時間をかけて安川  
さんの食べることに付

あいつうしんは、娘さんが  
事後報告ではなく、経  
鼻経管栄養をする前に  
相談に來てくれたこと  
が大きな分岐点だった  
と思います。なぜより  
あいに相談してみよう  
と思ったのか聞いてみ



すっかり元気！  
今では食欲旺盛な安川さん

ると、よりあいの『家  
族会』の影響が大きかつ  
た様です。

「入院後のあまりに  
急な展開に頭も気持ち  
もついていけない状況  
の中、よりあいの『家  
族会』に参加して経鼻  
経管栄養をしていた方  
が口から食べられる様  
になった話や看取りの  
話を思い出して。その

## 『支援を振り返って』

ある日、口にすることが出来たもの。  
プリン1口・メロン1口・カステラ1口。1日トータルで  
たったこれだけ。水分が1日200mlほどしか摂れなかつた  
日もある。そんなときは点滴を受けたりして何とか様子を見  
てきた。他にも色々な食べ物を準備した。果物・ゼリー・ア  
イスクリムなど口当たりのよいものから羊羹や最中など  
菓子まで。長女さんもおかずを作って持ってきて下さった。  
食べる時間も、「朝食・昼食・夕食」では  
なく24時間の中で安川さんの気が向いた  
タイミングを見計らって声を掛けた。



転機が訪れたのは、退院から約2週間後  
の10月31日。心地よい風が吹いていた  
その日は、昼食を縁側で食べる事にした。  
食事の準備をしていると、長男さん、長女  
さん、次女さんの3きょうだいがいかに來  
られ嬉しそうな様子の安川さん。すっかり  
母の顔となった安川さんは、自分でお箸と  
器を手にとって自ら口に運ばれたのだ。相変わらず食べる量は  
少ないけれど、自ら口に運ばれたことが大きな進歩で、私は思わず  
ガッツポーズしてしまった。さらに、キャンディーの容器を廻し  
ていると、「私も食べたい」との発言まで飛び出した。  
その4日後には早くも2つ目の転機が訪れた。昼食で出て  
いた沢庵漬を安川さんがポリポリと食べ始めた。口当たり  
のよいものでも吐き出していた安川さんが歯応えのある沢庵  
漬を5枚も平らげている…。それからは、毎食、お膳に漬  
物を出し続けた。そこから、お米や他のおかずも少しずつ食  
べる量が増えていった。退院から今まで、いろいろな食べ物

ときは母も元気だった  
ので遠い先の話と他人  
事のように聞いていたけ  
れど、いざ決断を迫ら  
れたときに、まずより  
あいに相談してみよう  
と思ったんです」と娘  
さん。もし娘さんが  
『家族会』に参加して  
いなかったら、安川さ  
んの支援は変わってい  
たかもしれません。改  
めて『家族会』の存在

よりあいで年々2  
〜3回『家族会』を開  
催しています。介護の  
大変さや悩みを共有し  
たり、看取り終えた家  
族の体験談を聞いて泣  
いたり、笑ったり、よ  
りあいの運営について  
も家族と一緒に考えて  
いきます。また、送迎

よりあいの『家族会』  
が活発になることは、  
今後のよりあいの発展  
にも繋がっていくと思  
います。コロナ禍でし  
ばらく『家族会』が出  
来ていませんが、そろ  
そろ顔を合わせて集ま  
りたいですね。

宅老所よりあい  
末吉 倫子

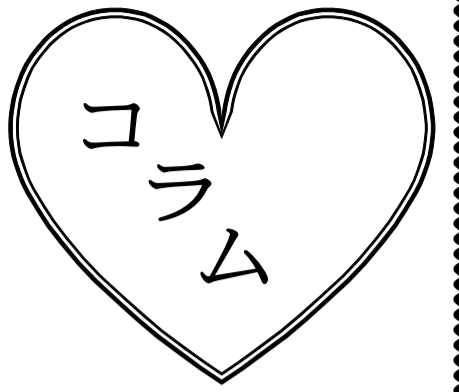
を留意する一方で、他のお年寄りや職員が食べているメニュー  
も並行してお膳に並べてきたことが実を結んだ。年末年始に、  
お試しで自宅へ戻って家族と過ごし、その後まもなく、ご  
自宅からよりあいへ通う元の生活に戻った。

今回の安川さんへの支援が、口から食べられなくなったす  
べての事例に当てはめられるわけではないことは重々承知し  
ています。また、経管栄養という選択肢をとるケースにして  
も、それぞれの事情があり、経管栄養  
のものを否定する気持ちもありません。  
いま振り返ってみると、安川さんが1口  
でも「美味しい」と思えたり、楽しいと  
感じたり、心が安らげばいいなとだけ考  
えながら支援をしていたと思います。言  
い換えるならば、安川さんだけに特別な  
ことをした訳ではないというのが実感で  
す。よりあいが実践してきた「お年寄  
りから考える」という視点・発想から、ご  
く自然に生まれた支援ばかりであり、他  
のお年寄りへの支援と比べて特に目新しさ・珍しさもありま  
せん。その当り前の支援が大きな成果へと繋がりました。

“先が長くないかもしれない”という状況で、お年寄り本  
人やご家族は何を思うのか。そして、私たち職員は、どのよ  
うに寄り添うべきか。迎える結果がどうであれ、そのプロセ  
スを大切にしている集団であり続けたいです。

宅老所よりあい

松尾 亮太



### 第二回二愛

よりあいに入職して最初に言われた事。それは、ゆっくりにお年寄りとして過ごしてくださいだった。

94歳の女性、恵都子さんの出来事。ある日の朝、恵都子さんと一緒にのんびりソファに座って過ごしていたら、手を握ってこられた。

「ご行くの？」  
立ちどまる私の手をギュッと握り引き止める。

「ちょっと用事が…」  
と伝えるも変わらぬ。

「何してんですか？」  
と出勤してきた職員が言う。

「何かしたんですか？」  
「何もしてないですよ」  
手を離してもらおうと、手を上に挙げて下にグイッと引っ張られる。捻ってみようとすると、アッと慌てた表情になり、しがみつくと同時に、私の手を頬に持っていくスリスリ…

「手を離してもらうつもりですか？」  
「……」

好いてくれるのは有り難いが、困る。「すみません、家で嫁が待っているんですよ」

「……」

この言葉で、頭を離そうとしなかった手をバツと離され、ソーンと知らん顔され目を閉じられる。

「あ、ほんとうにさよならから。怒ったじゃないですか」  
「ひどい男だ」

と職員に言われ、私は更に困った。確かに怒っておられ、何を言っても目は閉じたまま。何回か話しかけると、プイッと顔を背けられてしまう始末であった。

恵都子さんをここまでさせたのは何か？と思いついてみた。

私は他の誰より、恵都子さんの隣で過ごすことが多かった。一緒にご飯やお風呂、手を繋ぎ散歩にもよく出かけていた。そして困りごとには少し手を差し出す。

日々の暮らしの中で、私たちは一緒に居るだけかもしれない。しかし、その小さな積み重ねが恵都子さんの中で安心や信頼へと繋がって、一つの形として今回の出来事に表れたのかもしれない。

困ることもある。これでいいのかわからない。だけど出会った頃より元気になっていく恵都子さんに驚きを感じながら、少しは恵都子さんの思いに込められたのかな？と嬉しく思う。

この嬉しさが続くよう、恵都子さんと過ごす時間と想いを大切にしていきたい。

第二宅老所よりあい

藤村 龍他



恵都子さん

## よりあいグッズ発売中!

よりあいと言えば「資金づくり」ですよ！え？知りませんでした？？いやいや、「自分達の職場は自分達でつくる！」をモットーに、この30年間、バザーやマルシェを開催したり、Tシャツやジャムを販売してきたのです！その資金は、お年寄りの必要性に応じて柔軟に対応した際の人件費や、時代と共に老朽化していく建物を修繕するための費用等を補うために使わせて頂いています。今後もこれまで同様、目の前のお年寄りを中心に添え、臨機応変な実践をしていきたいと思っております。是非とも、資金づくりにご協力ください( \_ )



よりあいオリジナルグッズはみんなで夜な夜な手作りしています。写真 左からティッシュケース300円、ポチ袋100円、缶バッチ150円です。

よりあいの森で暮らすお年寄り達をモチーフとしたオリジナルおじいちゃん、おばあちゃん達のイラストがあしらわれた可愛い商品の数々！おひとついかがでしょうか？

HP (yoriainomori.com) の「よりあいグッズ」のコーナーには、オリジナルLINEスタンプ (<https://line.me/S/shop/sticker/author/1683591>) について掲載していますので、ぜひチェックお願いします。他のよりあいグッズについても順次掲載していく予定です。

オリジナルLINEスタンプ  
第三弾完成しました！！  
第一弾・第二弾と合わせて  
いかがでしょうか？  
ほどよくゆる～い感じが  
とってもカワイイ(\*^▽^\*)  
送られてきたらほっこりしちゃいます♪



LINEスタンプ QRコード



ホームページ QRコード

### 編集後記

新年明けましておめでとございませう。みなさま、昨年ほどのような一年だったでしょうか？毎年行われる今年の漢字。昨年の漢字は「金」でした。東京五輪で日本人選手が多数のメダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など、各界で金字塔を打ち立てた事、さらには給付金などお金のまつわる話も話題になったことが理由だという事でした。

昨年のよりあいはというと、お年寄りとお年寄りとの時間、とても大切に感じられた一年でした。毎日笑って楽しく過ごしたい。緊急事態宣言が出たりと、制限のかかったコロナ禍での生活は、より一層その想いが強くなった気がします。そして最期は家族と一緒に過ごせたら。病院や施設での面会が制限され、最期の瞬間にも立ち会えなくなってきた感じが、よりあいで家族と一緒に看取りを行いました。家族が最期に別れを告げる時間がないというのは、とても寂しく辛い事だと思います。コロナ禍での看取りは、改めてその時間の大切さを肌で感じるものが出来ました。

人生の残された時間は有限です。そして過ぎた時間は戻ってくることはありません。お年寄りのための大切な時間を、これからも大切に過ごしていきたいと思えます。

みなさまにとって今年一年が良い年でありませうように。本年もどうぞよろしくお祈り致します。

宅老所よりあい  
堀 正晴